

中学校社会科 歴史的分野学習指導案

1：単元名 北方領土返還のための標語をつくろう
(応募標語をつくる特設単元中の社会科歴史的分野として)

2：単元の概略

①北方領土募集標語を完成させる。

3：北方領土教育への視点

○北方領土標語を作成する前に正しい歴史的な認識を育てる。

○北方領土返還への標語を作成することにより、返還への意欲を高め、今なおふるさとに帰ることができない元島民の思いを知る。

4：単元の概要

第1時：北方領土返還標語を作成する前に北方領土に関する歴史的な理解を深め、四島は日本固有の領土である認識を育てる。
(標語の作成は、自宅学習にて実施し、後日提出)

5：本時の展開概要

	主な学習内容と大まかな流れ	指導上の留意点	使用資料
導入	①平成21年度の北方領土に関する標語を読み、標語言葉の意味を考える。 ・「北の島」ってどこだろう？ ・「思い出」ってどんな思い出なんだろう？ ・どうして「取り戻そう」と呼びかけているのだろう？	・標語から考えられること、疑問に思うことを自由に出させるとよい。	平成21年 最優秀賞 標語 「取り戻そう 思い出でつまった 北の島」
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習問題 北方領土をなぜ「取り戻そう」と呼びかけているのだろう。 </div> ②学習問題に対する予想をする。 ③江戸時代後期の北方領土に関する動きを知る。 ④第二次世界大戦以前の三つの条約内容を読みながら領土の変遷を理解する。 ⑤島を占領され戦後60年を過ぎてもまだふるさとに帰ることができない元島民が高齢化している現状を知る。	・地理分野での既習事項を想起させる ・地図に条約ごとの領土の変遷を色塗りさせるとよい。 ・自分のふるさとに帰りたくても帰ることができない、元島民に心を寄せられるようにしたい。	「なるほど！なつとく！北方領土」 (北対協) 「正保御国絵図」 ・元島民の思い。 (講演会などの要旨を短く抜粋した文章やVTR) 「みんなで考えよう知ろう、北方領土」(北対協)
まとめ	⑥学習問題に対して今日の授業でわかったことをワークシートにまとめて発表する。	・今日の授業でわかったことや感じたことを書かせ、数人に発表させ、標語作成のための足がかりにする。	・学習プリント